

FACE

第11号

2023.1

複数の職種と連携し
患者とその家族など
医療従事者など
すべての人を感染から守る





AST/ICT会議 (AST…抗菌薬適正使用支援チーム ICT…感染制御チーム)

病院は地域の皆さんの医療ニーズに応えずして 必要とされる存在にはなれない

自己紹介

2022年4月より滋賀県立総合病院に着任し、外科副部長と感染管理室長を拝命しました大江秀典と申します。

2001年に京都大学医学部を卒業し、同年同大学外科学教室に入局し研修を受けました。翌2002年4月より当院の前身である滋賀県立成人病センター外科に着任し、2007年までの5年間多くの外科部長に外科の基礎を教授いただき、良き仲間にも恵まれました。大塩学而先生、野中敦先生、河野幸裕先生、財間正純先生にはこの場を借りてお礼申し上げます。

その後は京都大学大学院進学、留学、いくつかの地域の基幹病院の勤務を経て、この度当院に帰ってくる事となりました。15年ぶりとなります。この病院は今も昔も地域の皆さんに必要とされている存在で、私自身の責任の大きさを改めて感じています。皆さんの期待に添うべく努力してまいります。よろしく申し上げます。



AST/ICTラウンドの様子

【経歴】

大江 秀典 (おおえ ひでのり)

(略歴)

- 2001年 京都大学医学部卒業
京都大学病院 外科研修医
- 2002年 滋賀県立成人病センター 外科
- 2007年 京都大学大学院 肝胆膵移植外科学講座
- 2011年 University of California, Los Angeles
(Terasaki Foundation Laboratory) 客員研究員
- 2012年 京都大学医学博士
- 2013年 京都大学病院 肝胆膵移植外科 医員
- 2014年 松江赤十字病院 外科
- 2015年 神戸国際フロンティアメディカルセンター 外科
- 2016年 大津市民病院 外科
- 2019年 市立大津市民病院 感染症科 診療部長
- 2021年 同 外科(肝胆膵部門) 診療部長
- 2022年 滋賀県立総合病院 外科副部長・感染管理室長